

平成29年8月23日

箕輪町議会議長 木村英雄 様

箕輪町議会議員 小出嶋文雄



議員グループ研修派遣結果報告書

箕輪町議会議員グループ研修実施要領第4条の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

研 修 名	マニフェスト・サミット 2017 「政策で勝負する議会へ～次世代の地域経営を考える～」
研修の期間	平成29年7月31日～8月1日
研修の場所	衆議院第一議員会館
成 果 (具体的に)	別紙のとおり
グループ研修 派遣議員名	木村英雄、中澤清明、釜屋美春、大槻金吾、唐澤敏、小出嶋文雄

議員グループ研修報告書

小出嶋文雄

研修名：マニフェスト・サミット 2017

「政策で勝負する議会へ～次世代の地域経営を考える～」

研修期間：平成29年7月31日～8月1日

研修の場所：衆議院第一議員会館

報告

1 議会改革の傾向と課題～最新版「議会改革度2016ランキング」から～

講師：早稲田大学マニフェスト研究所事務局長 中村 健 氏

議会活動の中でICTの活用まだまだ。議会改革度調査で100位以内にある議会は結構活発だが、500位から100位くらいの議会は、少し活動すればすぐ100位以内になれる。この調査は、ランキングが目的ではなくうちの議会は他とどこが違うかを発見し、良いとこのまねをして改革できるように、自分たちはどんな位置にいるのかを分かって活動するため。

仲間をつくる、議会全体で、住民を巻き込んで活動できるように進める。

議会活動が、税金を払っている住民に納得できるものなのか、何が住民のための政策なのか、税金の使い方を納得できるように説明する、納得できる政策をつくっていく、そしてそれを住民にわかるように説明していくのが議会として必要。

自治会長と議員との違い予算の議決の権限を持っていることが違う。

議会事務局の強化が必要。町の総合計画のチェックは議会の役目であり、大学等と連携して情報分析することも必要。

公共施設マネジメントなどについて横串を入れた審議が必要。

四日市市では議案を議会前に公開し、住民から意見を聞いて議会の審査に取り入れている。

議会が今やっていることをもう一度基本から見直してみることで改革につながる。

箕輪町議会の議会改革度2016ランキングは全体で77位、町で14位であるが、住民のための、住民にわかってもらうための、議会改革を進めていくことが必要と感じた。

議会が投票率を上げるための取り組みが必要。

2 有権者の意識調査と政策マッチ～2017と議会議員選挙の実践から～

講師：早稲田大学マニフェスト研究所招聘研究員 青木 佑一 氏

都議会議員選挙の有権者調査の結果について

その時の風ではなく、政策選挙はできないのか。

民意を測って、政策を訴えて。スマホ選挙になる。

都議会は、必要だが役に立っていない。

都民は、政策提言はできても都民につながっていない。

都民に対して、選挙の争点は、それが本当の争点なのか。

投票率が低く、選挙で示された民意と示されなかった民意を考える必要がある
ので、投票率を上げる必要がある。主権者教育も議会の役目。

スマホを使った選挙情報の配信がどんどん拡大していくので選挙のやり方変わ
っていく。

3 地域農産物の特性を踏まえた第一次産業分野の活性化～AI農業～

講師：慶應義塾大学環境情報学部准教授 神成 淳司 氏

AIはアグリ・インフォマティクス（農業情報科学）の略。AI農業とは、今後急速
に失われていく可能性のある篤農家の「匠の技」（暗黙知）を、ICT技術を用いて「形
式知」化し、他の農業者や新規参入者等に継承していく新しい農業です。

【農業農村の持続性確保に向けた課題】

- 若年層の担い手をいかにして確保・育成すべきか ○ 熟練農家の高い生産技術（暗
黙知、経験則）をどう引き継ぐか
- どうすればもうかる農業ができるのか ○ 消費者ニーズに適時的確に対応できな
いか

【実証実験を通して検証】

AIシステムを構成する要素技術のうち、実用化段階にある技術を生産現場に導
入して実証することにより、熟練農家の生産管理やノウハウ（暗黙知）を継承する
システムの普及を図る

これから、農業者の高齢化に伴い、退職者の農業参入、新規農業者などに篤農家の
「匠の技」（暗黙知）を、ICT技術を用いて「形式知」化し、継承することにより、農
業技術の高度化、海外へのシステムの輸出など今後の農業の発展に貢献できると期待
できました。町の農業政策にも取り入れる参考にしたい。